

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	にじのかけら
------	--------

公表日

令和7年10月3日

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など	実施内容及び計画内容
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	2	0		人数が多い時は1Fと2Fで分散
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	0		十分に配置されている
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	0	0		視覚で情報を読み取れるよう、利用児向けに貼り紙等をしている。 (例) 階段は1人で下りないなど
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0	0		クールダウンできる様にしている
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	3	0		状況に応じ、柔軟に対応
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0	0		HPで公開している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	0		HPで公開している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	0		定期的なミーティング、個別対応等をしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	7	0		必要に応じて実施を検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	2	0		入職時に研修を行い、定期的に勉強会を行うようにしている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1	0		5領域に則ったプログラムをHPに掲載。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	1		支援計画書作成前の面談時にアセスメントをし、計画書を作成している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	0		支援計画書【案】をもとに担当者会議を複数の職員で行い、その内容に沿って支援を行っている。支援計画書は職員が閲覧しやすい場所に保管している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0	0		独自のアセスメントチェックシートを用いている
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	2	0		ガイドラインに沿った内容に個々の子どもに必要な支援内容を具体的に設定している。
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	1	0		複数のスタッフで相談している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	3	0		季節を感じられる内容を取り入れているが固定化はしていない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	0		

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	0		集団活動とは別に自由遊びの時間に遊びの中に個別療育を取り入れている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	2	1	支援日誌を必ず目を通すように日々職員へ通達。	日々行っているが、非常勤職員など、出勤時間の関係で打合せが出来ない場合は支援日誌等で状況が把握できるようになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0	0	極力全職員にモニタリングに参加してもらう	定期的にモニタリング会議を実施している。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	0		基本的には児発管が出席している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0	0		必要に応じて相談員、他事業所、学校と連携を取っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	0	移行先等に対する情報収集に努める。	他事業所との併用や、他のサービス等への移行も面談時にお話ししている。
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	2	1	特に入学したての数か月は学級担任と密に連携していきたい。	相談員を通じて情報共有をしている。
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	0	0		必要に応じて連携をしている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	2	0		外部研修への参加を奨励している。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	5	3		担当者が参加している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	7	1		当地区では、相談支援事業所がその役割を担っているので、そちらと共有している
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	10	6	0	休日など地域の児童館で地域の子ども達と交流する機会がある	2組（低学年児中心）では休日を利用し行っている
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	3	0	連絡帳の活用も促している。	責任者がLINE等を使用し、常に共有できている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0	0		チラシ配布等で情報提供をしている
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	1		利用開始前、利用開始時に行っている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0	0		支援計画作成前に面談をしている。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	1	0		面談時に支援計画の草案を見ながら支援内容の説明をしたうえで支援計画書に署名を頂いている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	0		半年毎の定期的な面談に加え、必要な場合は随時面談の機会を設け支援している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	0	0		家族で参加できる夏まつりの改正（1組）。家族で参加できる地域のサッカーチームのイベントに招待。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	3	1		相談の申し込みがあった場合、もしくは必要性を感じた場合は迅速に面談を設定している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	0		おたよりを発行している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	0		行っている
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	0		行っている
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	0	0		地域の方を招待できるようなイベントはないが、地域の行事には参加している。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	9	1		HPに掲載
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	2	1		行っている
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	1	1		行っている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	0		医師の指示所が出ていているほどのアレルギーの対象者がいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1	2		行っている
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	2	1		行っている
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	1	1		行っている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	0		行っている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	1	0		身体拘束適正化委員会にて決定し、職員への研修にて周知、保護者へは利用契約時に説明し了解を得ている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16	0	0		

※多機能事業所であり、同時間帯に児童発達支援・放課後等デイサービスを同じ職員が勤務している為、合算した形式でアンケート調査を実施した。